



東山道·五箇荘

五個荘は「山前五個荘」駅があったと推定

山前荘(やまさきのしょう) は鎌倉期から見える荘園名。神崎郡のうち。山前荘は繖(きぬがさ)山の東麓に展開する地域で、 一般には「山前五個荘」と称されている。五個は空閑(こかん)の転訛。

元亨 3 年の「室町院譲状」では、山前荘は南荘・北荘・東荘・橋爪(はしづめ)荘・新八里荘からなっており、「與地志略」は、川並(かわなみ)・金堂(こんどう)・市田・北荘・七里(しちり)・石馬寺(いしばじ)・位田(いんでん)・石川・五位田(ごいでん)・下日吉(しもひよし)・町家の11 か村が荘域に含まれるとしている。

応保元年の「妙香院荘園目録」によると、山前新日吉荘が妙香院(青蓮院)の所領であり、これは長亨元年まで確認される。また安元2年には、山前本日吉神田は生源寺の支配から日吉社領に移っており(平遺3769)、弘安7年にも尼正戒相伝の山前北荘内の神田が、大宮御灯油と山門西塔西谷南尾竜樹講米を貢納していた(三浦文書)。

<引用文献>

「角川日本地名大辞典」編纂委員会 竹内理三編集『角川日本地名大辞典 25 滋賀県』角川春樹発行 昭和54年



















0046_五箇荘金堂(近江商人の町)





















0003_五個荘駅周辺·街道

0008_五個荘駅周辺・街道

0013_五個荘駅周辺・街道

0018_五個荘駅西側·360度

0023_五個荘駅西側·360度



















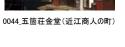






































0050_五箇荘金堂(近江商人の町)







0051_五箇荘金堂(近江商人の町)



0052_五箇荘金堂(近江商人の町)



0053_五箇荘金堂(近江商人の町)



0054_五箇荘金堂(近江商人の町)



0055_五箇荘金堂(近江商人の町)



0056_五箇荘金堂(近江商人の町)



0057_五箇荘金堂(近江商人の町)



0058_五箇荘金堂(近江商人の町)



0059_五箇荘金堂(近江商人の町)



0060_五箇荘金堂(近江商人の町)



0061_五箇荘駅·周辺、駅、中山道



0062_五箇荘駅·周辺、駅、中山道



0063_五箇荘駅·周辺、駅、中山道



0064_五箇荘駅・周辺、駅、中山道



0065_五箇荘駅·周辺、駅、中山道



0066_五箇荘駅·周辺、駅、中山道



0067_五箇荘駅·周辺、駅、中山道



0068_五箇荘駅·周辺、駅、中山道



0069_五箇荘駅·周辺、駅、中山道



0070_五箇荘駅·周辺、駅、中山道



0071_五箇荘駅·周辺、駅、中山道



0072_五箇荘駅·周辺、駅、中山道



0073_五箇荘駅·周辺、駅、中山道



0074_五箇荘駅·周辺、駅、中山道



0075_五箇荘駅·周辺、駅、中山道



0076_五箇荘駅·周辺、駅、中山道



0077_五箇荘駅·周辺、駅、中山道



0078_五箇荘駅·周辺、駅、中山道



0079_五箇荘駅·周辺、駅、中山道



0080_五箇荘駅·周辺、駅、中山道



0081_五箇荘駅・周辺、駅、中山道



0082_五箇荘駅·周辺、駅、中山道